



## 平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月7日

上場会社名 ミツ星ベルト株式会社  
コード番号 5192 URL <http://www.mitsuboshi.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 垣内 一  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 増田 健吉

TEL 078-685-5630

四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	15,337	14.9	1,337	△9.4	1,791	36.0	1,136	33.3
25年3月期第1四半期	13,347	3.2	1,476	△5.8	1,317	△17.9	853	△24.2

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 2,293百万円 (125.4%) 25年3月期第1四半期 1,017百万円 (△23.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	17.59	—
25年3月期第1四半期	12.76	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	76,199	47,322	62.1	732.35
25年3月期	72,790	44,146	60.6	683.18

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 47,322百万円 25年3月期 44,146百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	7.00	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	30,000	8.5	2,400	△14.6	3,000	17.9	2,000	28.2	30.95
通期	59,500	7.1	5,000	△4.2	5,400	△9.9	3,600	△3.6	55.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 一社 (社名) 、除外 1社 (社名) エム・オー アイテック プライベート リミテッド

(注) 詳細については、四半期決算短信【添付資料】P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細については、四半期決算短信【添付資料】P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	71,208,397 株	25年3月期	71,208,397 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	6,590,608 株	25年3月期	6,589,433 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	64,618,104 株	25年3月期1Q	66,868,063 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件等については、四半期決算短信【添付資料】P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、政府と日銀の脱デフレ政策への期待から、調整局面での反動はあったものの円安と株高が進行し、個人消費が持ち直すとともに、輸出の拡大によって、景気は持ち直しつつあると見られています。

このような環境のもと、当社グループはアジア圏を中心とした成長市場における販売活動を強化するとともに生産体制の再構築を推進し、経営の効率化と一層のコスト削減に取り組んでまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高153億37百万円（前年同期比14.9%増）、営業利益13億37百万円（前年同期比9.4%減）、経常利益17億91百万円（前年同期比36.0%増）、四半期純利益11億36百万円（前年同期比33.3%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## 〔国内ベルト事業〕

自動車用ベルトは、昨年実施されたエコカー補助金の反動による国内新車市場の落ち込みに加え、補修用需要の低下により、売上高が減少しました。

一般産業用ベルトは前年同期並みにとどまりましたが、運搬ベルトでは積極的に新製品を投入したこと、また、合成樹脂素材では設備向けの需要が復調したことによって、いずれも売上高が増加しました。

その結果、当事業の売上高は62億57百万円（前年同期比0.7%増）、営業利益は14億47百万円（前年同期比14.1%減）となりました。

## 〔海外ベルト事業〕

米国では、自動車用ベルトと一般産業用ベルトの売上高が現地通貨ベースではいずれも前年同期並みにとどまりましたが、欧州では、景気低迷の中、新規市場での農業機械用ベルトの拡販活動により一般産業用ベルトが伸長するとともに、自動車用ベルトの売上高も増加しました。

また、アジアでは、中国やインドネシアを中心に一般産業用・自動車用・OA機器用ベルトがいずれも増加しました。

当事業全体の売上高は現地通貨ベースで10%台後半の伸びとなった上に、為替レートが前年同期と比較し円安になったことにより、邦貨ベースでは大幅な増加となりました。

その結果、当事業の売上高は72億20百万円（前年同期比46.0%増）、営業利益は4億54百万円（前年同期比109.0%増）となりました。

## 〔建設資材事業〕

建築部門は業界全体では公共・民間投資が増加しているものの、建築・防水材料の需要拡大にはいまだ結びついていないことから、売上高が減少しました。

また、土木部門では前年同期に比べ大型物件が少なかったことから、売上高が減少しました。

その結果、当事業の売上高は9億5百万円（前年同期比17.7%減）、営業利益は4百万円（前年同期比76.2%減）となりました。

## 〔その他〕

その他には、エンジニアリング ストラクチャル フォーム、ナノ粒子を応用した新製品、仕入商品等が含まれております。

その他の売上高は9億53百万円（前年同期比12.4%減）、営業利益は1億10百万円（前年同期比214.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末は、たな卸資産の増加等により流動資産が10億96百万円、有形固定資産が9億92百万円、株価の上昇に伴い投資その他の資産が13億22百万円とそれぞれ増加した結果、総資産は前連結会計年度末比34億9百万円増加の761億99百万円となりました。

また、負債も、流動負債が2億44百万円増加したことにより、前連結会計年度末比2億32百万円増加の288億76百万円となりました。

純資産は、四半期純利益の計上により利益剰余金が6億58百万円、株価の上昇及び為替が円安に推移した影響によりその他の包括利益累計額が25億19百万円とそれぞれ増加した結果、前連結会計年度末比31億76百万円増加の473億22百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の60.6%から62.1%に上昇しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

設備投資に力強さが欠けることや、欧州経済の低迷、中国経済の不透明感など、第2四半期以降の景気動向には依然不安定要因があるものの、個人消費と輸出の復調に加え、公共投資も本格化したことによって、今後、国内景気は緩やかに回復すると見られています。また、円高の修正により為替が想定水準よりも円安で推移していることから、第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想の見直しを行い、平成25年5月10日発表の予想を修正いたしました。

詳細については、本日（平成25年8月7日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結会計期間より、エム オー アイ テック プライベート リミテッドについては、ミツボシ オーバーシーズ ヘッドクォーターズ プライベート リミテッドと合併したため、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

従来、連結子会社のうちミツボシ ベルティング インディア プライベート リミテッドを除く23社については、決算日が12月31日であったため同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については連結上必要な調整を行っておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、連結の範囲から除外した1社を除く22社のうち20社は決算日を3月31日に変更し、中国にある子会社2社については3月31日に仮決算を行うこととしました。

この変更により、当第1四半期連結会計期間は、平成25年4月1日から平成25年6月30日までの3カ月間を連結しております。なお、平成25年1月1日から平成25年3月31日までの3カ月間の損益については、利益剰余金に直接計上しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,875	15,007
受取手形及び売掛金	12,808	12,957
商品及び製品	9,543	10,220
仕掛品	1,389	1,569
原材料及び貯蔵品	2,488	2,088
その他	1,110	1,467
貸倒引当金	△80	△79
流動資産合計	42,135	43,231
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,960	6,980
機械装置及び運搬具（純額）	7,057	7,195
工具、器具及び備品（純額）	1,439	1,422
土地	4,184	4,249
建設仮勘定	1,166	1,951
有形固定資産合計	20,808	21,800
無形固定資産		
投資その他の資産	76	76
投資有価証券	9,473	10,794
その他	321	322
貸倒引当金	△24	△24
投資その他の資産合計	9,770	11,092
固定資産合計	30,655	32,968
資産合計	72,790	76,199

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,723	6,568
短期借入金	7,392	7,530
未払法人税等	864	433
賞与引当金	418	1,135
その他	3,105	4,082
流動負債合計	19,505	19,749
固定負債		
長期借入金	4,917	4,376
退職給付引当金	404	517
役員退職慰労引当金	25	18
その他	3,792	4,214
固定負債合計	9,139	9,126
負債合計	28,644	28,876
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,150	8,150
資本剰余金	5,480	5,480
利益剰余金	31,917	32,575
自己株式	△3,410	△3,411
株主資本合計	42,138	42,795
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,650	5,477
為替換算調整勘定	△2,642	△949
その他の包括利益累計額合計	2,008	4,527
純資産合計	44,146	47,322
負債純資産合計	72,790	76,199

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	13,347	15,337
売上原価	9,085	10,912
売上総利益	4,262	4,424
販売費及び一般管理費	2,785	3,087
営業利益	1,476	1,337
営業外収益		
受取利息	10	12
受取配当金	95	116
為替差益	—	309
その他	71	131
営業外収益合計	177	569
営業外費用		
支払利息	44	36
為替差損	190	—
その他	101	79
営業外費用合計	336	115
経常利益	1,317	1,791
税金等調整前四半期純利益	1,317	1,791
法人税等	464	655
少数株主損益調整前四半期純利益	853	1,136
四半期純利益	853	1,136

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	853	1,136
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△579	806
為替換算調整勘定	743	350
その他の包括利益合計	164	1,156
四半期包括利益	1,017	2,293
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,017	2,293
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	国内 ベルト	海外 ベルト	建設資材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	6,212	4,945	1,101	12,260	1,087	13,347	—	13,347
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,991	709	—	2,701	332	3,033	△3,033	—
計	8,204	5,655	1,101	14,961	1,420	16,381	△3,033	13,347
セグメント利益	1,684	217	20	1,922	35	1,957	△480	1,476

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備機械、他社仕入商品、エンジニアリング ストラクチャル フォーム、サービス事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△480百万円には、セグメント間取引消去151百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△632百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	国内 ベルト	海外 ベルト	建設資材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	6,257	7,220	905	14,384	953	15,337	—	15,337
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,695	751	—	2,447	1,124	3,571	△3,571	—
計	7,952	7,972	905	16,831	2,077	18,908	△3,571	15,337
セグメント利益	1,447	454	4	1,906	110	2,017	△679	1,337

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備機械、他社仕入商品、エンジニアリング ストラクチャル フォーム、サービス事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△679百万円には、セグメント間取引消去△48百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△631百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。